

体組成計 MC-180

【禁忌・禁止】

適用対象（患者）

- ・ペースメーカーやその他の医用電気機器を装着した患者への使用。
[本装置は患者の体内に微弱な電流を流すため、これらの医用電気機器を誤動作させる恐れがあります。]
- ・手足等の本装置に直接触れる部位に傷や炎症がある患者への使用。
[病気感染の恐れがあります。]
- ・6才未満の小児への使用。[妊婦、産婦、授乳婦および小児等への適用の項参照]
- ・金属（クロム及びステンレス）アレルギー患者への使用。
[本装置は、手用電極にクロムメッキ、足用電極にステンレス鋼を使用しています。]

併用医療用具 「相互作用の項参照」

- ・高圧酸素治療装置内での使用。
- ・可燃性麻酔ガス及び高濃度酸素雰囲気内での使用。

患者の体に接触する部分の材質

左、右グリップ	グリップ本体：ABS樹脂 電極：樹脂メッキ（クロム）
タッチパネル	ポリエステル
測定台	ABS樹脂
つま先側、かかと側電極	ステンレス鋼

作動原理

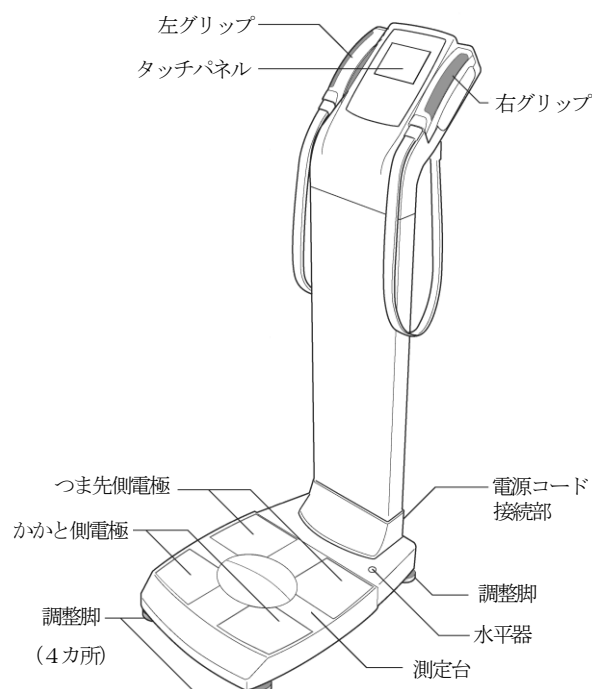
8 電極による生体インピーダンス測定は、左右のグリップに付けられた手用電極と測定台上の足用電極から、患者の体内に微弱な電流を流して行います。

この方法で、電流を流す部位と電圧を測る場所を切り替えることによって、全身、右足、左足、右腕、左腕の、5 つの部位の生体インピーダンスを測定できます。

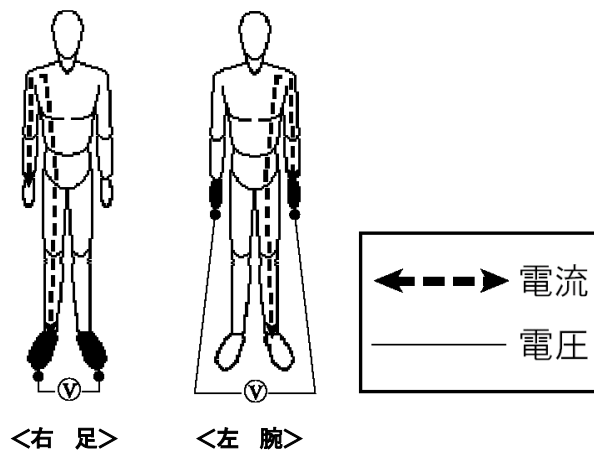
例えば、右足の生体インピーダンスを測定する場合は、右手足間に電流を流し、両足間の電圧を測定しています。

【形状・構造及び原理等】

本品は、左右のグリップ及び測定台上の電極（計8個）から、患者の体内に微弱な電流を流して、生体インピーダンスを測定する装置です。生体インピーダンス値と、測定台に内蔵された重量センサーから得られた体重値、及び入力データ（性別・身長・年齢等）から、体組成を推定して表示する機能を有します。



＜各部位の生体インピーダンス測定例＞



このようにして測定された生体インピーダンス値と、測定台に内蔵された重量センサーから得られた体重値、及び入力データ（性別、体型、年齢、身長）から、体脂肪率、体水分量等を推定して表示します。

本装置をご使用になる前に、本書と取扱説明書を必ずお読みください。

仕様

- ・測定方式 : 8 電極多周波数測定方式
- ・測定部位 : 全身、右腕、左腕、右足、左足
- ・測定周波数 : 5、50、250、500kHz
- ・電極電流 : 100～300 μ A
- ・測定範囲 : 75～1500 Ω
- ・最小測定単位 : 0.1 Ω
- ・測定時間 : 20 秒以下
- ・使用温度範囲 : 5～35℃
- ・結果推定項目 : 体脂肪率、体脂肪量、除脂肪量、体水分量、細胞外液量、細胞内液量
- ・表示方式 : LCD タッチパネル 320×240 ドット

各測定項目の表示（測定）範囲、及び表示方法

・体重	2.00～270.00kg	最小単位	0.05kg
・体脂肪率	1.0 ～ 75.0 %	最小単位	0.1 %
・脂肪量	0.10～202.80kg	最小単位	0.05kg
・除脂肪量	0.10～202.80kg	最小単位	0.05kg
・体水分量	5.00～200.00kg	最小単位	0.05kg
・細胞外液量	5.00～200.00kg	最小単位	0.05kg
・細胞内液量	5.00～200.00kg	最小単位	0.05kg

機器の分類

- ・電撃に対する保護の形式 : クラス I 機器
- ・電撃に対する保護の程度 : B F 形機器

電氣的定格

- ・定格電圧 : 100V
- ・交流・直流の別 : 交流
- ・周波数 : 50/60Hz

本製品は JIS 規格 JIS T 0601-1-2:2012 に適合しています。

【使用目的又は効果】

本品は、生体インピーダンスを測定する装置である。
各種パラメータ（体脂肪率、体水分量）を表示し、体組成を推定する機能を有する。

【使用方法等】

設置方法

本装置は、次のような場所を避けて、床面が平らで安定している場所に設置してください。

- ・直射日光の当たる場所や暖房器具の近く、又は空調機の風が直接当たる場所。
- ・温度変化の激しい場所。
- ・湿気の多い場所や、濡れる可能性がある場所。
- ・振動の激しい場所。
- ・化学薬品の保管場所や、ガスが発生する場所。

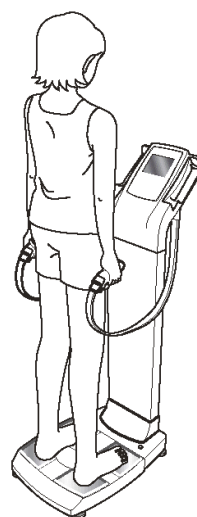
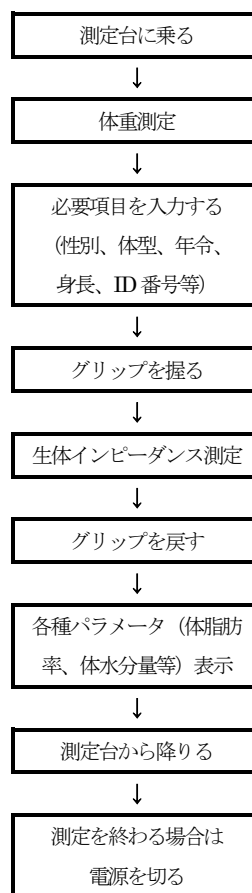
組立方法

取扱説明書の「準備する（本体のセッティング）」に記載されている注意事項を守って、次の手順で組み立ててください。

- ①本体を梱包箱から取り出して床に置く。
- ②ポールを起こして、付属のネジで固定する。
- ③水平器の気泡が中心に来るように、調整脚で調整する。
- ④電源コードを本装置に差し込み、電源プラグを医用コンセントに接続する。

使用方法

電源を入れ、初期画面で「体組成計」を選択し、タッチパネルに表示される指示に従って、下記の手順で測定します。



<正しい測定姿勢>

その他の設定、使用方法等、詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

- ・電源は、医用コンセント（AC100V 接地極付き）を使用してください。
- ・本装置及び患者に異常がないことを、絶えず監視してください。
- ・本装置及び患者に異常が発見された場合、患者に安全な状態で本装置の電源を切る等、適切な処置を講じてください。
- ・本装置の故障が考えられる場合は、分解等せずに、「使用禁止」「修理依頼中」等の表示を行い、販売店連絡先又は発売元お客様サービス相談室までご連絡ください。
- ・本装置の重量センサーは、使用する場所の重力加速度の値に合わせて調整されていますので、本体に表記された地域以外では使用しないでください。
- ・本装置の近くで、携帯電話を使わないでください。
- ・本装置の近くで、マイクロ波治療器を使わないでください。
- ・本装置は、一部のインバーター蛍光灯と干渉して誤動作する恐れがありますので、事前に確認してからご使用ください。
- ・本装置は、素手・素足で測定しますので、電極とその周辺部を消毒用アルコールで拭く等、常に清潔にしてご使用ください。
- ・タッチパネルが汚れていると、動作不良を起こすことがありますので、水または家庭用洗剤を湿した布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。
- ・分解や改造は、絶対にしないでください。

相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

医療用具の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
高圧酸素治療装置 （1人用／多人数用）	使用禁止	爆発又は火災を 起こすことがある。
可燃性麻酔ガス及び高濃 度酸素素囲気内での使用	使用禁止	爆発又は火災を 起こすことがある。

妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

本装置の電極形状等の構造及び体組成の推定に用いる計算式は、6才以上を対象にしていますので、6才未満の小児には使用しないでください。

【保守・点検に係る事項】

保守・点検

- ・本体が汚れた場合は、水または家庭用洗剤を湿した布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。熱湯やベンジン、シンナー等は、使用しないでください。
- ・本装置を体重の証明行為（カルテに記入等）に使用する場合は、2年に1回、都道府県、特定市、指定定期検査機関のいずれかが行う定期検査、または計量士が行う代検査を受ける必要があります。（計量法）
- ・長期間使用しない場合は、電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。
- ・長期間使用しなかった場合、使用する前に正常かつ安全に作動することを確認してください。
- ・保管する場合、汚れを防ぐため、本体カバーをご使用ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

株式会社 **タニタ** 秋田

住所 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添 28-1

電話 0187(66)2122（代表）

発売元・お問い合わせ先

株式会社 **タニタ**

住所 〒174-8630 東京都板橋区前野町 1-14-2

お客様サービス相談室

電話 フリーダイヤル 0120-133821

【販売店連絡先】